

大潟村連携教育を支える コミュニティ・スクールの推進

地域ぐるみで子どもの「学び」・「育ち」・「心」を支えます



未来を担う
子どもたちのために



2022年3月

大潟村教育委員会

学び

「考える力」「表現力」「意欲的に学ぶ態度」



今年度の重点

1 よく聞いて、考えて、伝え合う活動の充実



みんなの会で

2 読書活動の充実・発達段階に合わせた読書活動の工夫



図書ボランティアによる読み聞かせ

3 関わり合って学ぶ(遊ぶ)活動の充実



中学3年生をリーダーとして体育祭の練習に励む生徒

◆成果

1 伝え合う活動

- 一人一人の思いを丁寧に受け止め、信頼関係を築くことが子どもたちの自己発揮につながりました。
- ICT機器を活用して伝え合う活動を充実させることができました。

2 読書活動

- 地域の方の読み聞かせは効果的でした。今後も継続したい活動です。子どもたちの読書の幅が広がり、子どもたちが集中して興味をもって聞いたりすることができました。
- 保護者への情報発信やおすすめの新刊本を紹介しました。

3 関わり合って学ぶ(遊ぶ)活動

- 一人一人の活動をしっかりと見取り、様々な見方を指導に生かしました。
- コロナ禍ではありましたが、運動会や学習発表会等の行事を行い、協力して取り組むことで、達成感をもたせることができました。
- 先輩のよい手本を後輩に見せることにより、来年度への期待感をもたせることができました。

◆課題

1 伝え合う活動

- 集団の中でのコミュニケーションが苦手な子どもへの対応
- 話の聞き方の指導

2 読書活動

- 中学生の小学生への読み聞かせが実施できなかったこと
- 読解力、語彙の習得等、発達段階に応じた読書活動の推進

3 関わり合って学ぶ(遊ぶ)活動

- 消極的な子どもにも自信をもたせる工夫(スモールステップでできたことを褒める等)



ICT機器を使って自分の考えを発表



雪に色がついたよ!



保健体育の授業での発表

◆来年度に向けて

今年度までの取組の課題を踏まえ、「1 よく聞いて、考えて、関わり合う活動の充実」「2 読書活動の充実：発達段階に合わせた読書活動の工夫」「3 意欲的に学ぶ(遊ぶ)活動の充実」と重点項目を見直し、共通実践していきます。

育ち

「規範意識」「健康・安全意識」「主体的な行動力」



今年度の重点

1 温かなかかわりと居心地のよい集団づくりの充実



友だちのいいところ探し
～3年生から2年生への「いいところ探し」のプレゼント～

2 体力の向上、柔軟性の改善、持久力の強化：発達段階に応じた意図的・計画的な指導と、運動の習慣化



マラソン大会に向けて「ランランタイム」

3 あいさつ運動の充実：地域との連携を図った心を込めた、あいさつ運動の指導、学校運営協議会との連携



年長児のあいさつ運動
～笑顔であいさつ～

◆成果

1 温かなかかわりと居心地のよい集団づくり

- 子どもとの信頼関係を築くことで十分に自己表現することができ、やさしい言葉づかいでのかかわりが増えました。
- 「いいところ探し」により、互いのよさを認め合うことで自己有用感を高めることができました。

2 体力の向上 柔軟性の改善 持久力の強化

- 発達や成長に合わせた取組や十分な遊び場、時間の確保ができました。
- 行事に向けた「カジュアルタイム」の効果的な実施ができました。

3 あいさつ運動

- 校園での最高学年、及び小・中学校では委員会が中心となってあいさつ運動を行ったことが、元気なあいさつ、積極的なあいさつにつながりました。



バランスとして1, 2, 1, 2



縦割り班によるトランプ集会(異学年交流)



全校ストレッチ集会
カジュアルデーの朝はストレッチをしてすっきり!

◆課題

1 温かなかかわりと居心地のよい集団づくり

- メディア等の影響による言葉づかいの乱れに対する指導の充実

2 体力の向上 柔軟性の改善 持久力の強化

- 心身の発達や成長、必要に応じた計画的かつ効果的な取組の見直し

3 あいさつ運動

- 継続的な呼びかけとともに、校園内だけでなく、家庭、地域と一体となった取組の推進

◆来年度に向けて

- 園児・児童・生徒との信頼関係を深め、家庭・地域とのつながりを大切にしながら、互いに認め合えるかかわりを充実させます。
- 心身のすこやかな成長を促すための手立てを充実させます。
- 家庭・地域とともに気持ちのよいあいさつを推進します。

心

「優しい心」「たくましい心」「ふるさとを愛する心」



今年度の重点

1 「おもいやり」を重視した交流活動



年長児と1年生の魚釣り

2 めあてを明確にした教育活動



力を合わせて

3 地域のよさを知り、学び、伝える体験活動



地域の方々から学んだことを4年生に伝える

◆成果

1 「おもいやり」を重視した交流活動

- 任されたり頼りにされたりすることが励みになり、上の学年の子が下の学年の子に、思いやりをもって接する場面が目立ちました。
- 様々な活動や行事を通して、それぞれの立場を意識して活動する姿が見られました。

2 めあてを明確にした教育活動

- 身の回りのこと、授業、行事等に向かう意欲を大切に、あらゆる場面でゴールをイメージした活動ができました。

3 地域に関わり、学び、つなげる体験活動

- 地域を学びのフィールドとして、交流活動やボランティアの方とのふれ合い、地域人材を活用した学習活動ができました。
- 育てた野菜を販売したり、総合的な学習の時間の発表で、地域にプレゼンしたりして伝えるなどの活動ができました。

◆課題

1 「おもいやり」を重視した交流活動

- 状況に応じた交流活動の計画作成、及び活動の意義を明確にした交流の推進

2 めあてを明確にした教育活動

- 次の活動につなげるための振り返りの時間の充実

3 地域に関わり、学び、つなげる体験活動

- 体験活動の計画的な実施
- 制約がある中での交流の持ち方と工夫

◆来年度に向けて

- 今年度までの取組を踏まえ、「1 おもいやりのある言動につながる交流活動の継続と推進」「2 活動のめあてが一人一人のゴールにつながる手立ての工夫」「3 地域とのつながりを実感できる体験活動の充実と発信」と重点項目を見直し、共通実践していきます。



5年生による年長児への読み聞かせ



いじめについて深く考える



「貸してあげるね。」

今年度の学校運営協議会の取組から

大潟村連携教育一斉公開保育・授業を参観

～こんな意見・感想がありました～

R3.12.16



こども園の保育を参観して

- 思う存分体を動かしたり、ゆったりと自分のやりたいことに取り組んだり、友だちと一緒に遊んだりと様々な姿が見られました。
- 子ども同士のトラブルが発生しても少し見守り、自分たちで解決できるかどうかを見極めている先生方の対応が素晴らしかったです。
- 園内が手作り感で飾られていて、ぬくもりを感じました。いろいろなものが段ボールで工夫されていて、先生方のアイデアに脱帽です。



小学校の授業を参観して

- 子どもたちがタブレットをうまく活用していました。タブレットを使うことによって答えを出すまでのプロセスを子どもの数だけ表示できて、違う考えをシェアできてよかったです。
- 先生方が安易に正解・不正解と言わず、考えさせる「待ち」があって有意義な授業でした。
- 先生方が、できたことはしっかり認めてあげていました。できていないことよりもできたことに目を向けているのが素晴らしいです。



中学校の授業を参観して

- ICTの活用などで視覚的に生徒の思考に働きかけ、課題に対する興味も高められていると思いました。
- 先生方の指示が明確、的確なので生徒が主体的に学ぶことができていました。また、授業中の生徒のリアクションがよく、先生と生徒の信頼関係が築かれていると感じました。
- 各クラスの廊下の壁の写真が素敵でした。ぜひ村民のみなさんも見る機会があったらいいと思いました。

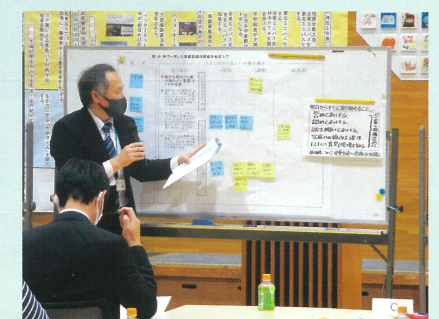


委員の皆さんのご意見・ご感想は、教職員の刺激となり、“子どもたちの成長”につながっています。

大潟村連携教育研究協議会に参加 R3.12.16

～“園・小・中で一貫した規範意識の醸成”をテーマに協議をしました～

園・小・中では今年度3つのルール「人の話は最後まで聞く」「人の失敗を笑わない」「人の嫌がることをしない・言わない」を共通実践事項として一貫した規範意識の醸成を目指してきました。各校園の先生方と学校運営協議会委員が、子どもたちの規範意識の現状を共有し、取組の成果と課題、今後の取組について熱心な協議を行いました。





こども園部会・小学校部会・中学校部会を実施

～各部会の意見を一部紹介します～

こども園部会

1回目 R3.7.19 座談会 R3.12.16 2回目 R4.2.9

保育者がゆったりとかかわっており手厚いと感じました。園舎内がきれいに整っており、季節の壁面や、子どもたちの作品などが掲示されていてよかったです。

(一斉公開保育、授業参観をして) 園から小、中学校へ、という育ちがよく見えました。園から小へのつなぎの連携がよく取れているからだと思います。

全体的に運動量はあると思いますが、体が固い子が多いと感じます。関節を動かす運動などへの取組が必要ではないでしょうか。

園・小や園・中の交流が非常に充実していたと思います。コロナ禍で大変かもしれませんが、地域全体としてもいい取組だと思います。



中学校部会

1回目 R3.6.30 座談会 R3.12.16 2回目 R4.1.24

学校と家庭が連携した3S(炊事・洗濯・掃除)は素晴らしい取組です。ぜひ続けてほしいと思います。

(公開授業参観をして) ICTの活用で授業にスピード感があり、生徒も飽きずに授業に参加していたように思います。一方で体育の「運動量」や「書く力」「読む力」とのバランスが難しいと感じました。

大中キラキラ塾の機会などで、村の人材や地域の素材をどんどん活用してほしいと思います。

学校では端末の家庭への持ち帰りも始まっています。地域ぐるみでICT活用も含めた子どもたちの学びを支えていけたらと考えています。



小学校部会

1回目 R3.7.21 座談会 R3.12.16 2回目 R4.1.21

園・小・中の共通実践事項である3つのルールの取組は素晴らしいと思います。この取組については保護者へも発信して、ぜひ家庭の教育力を高めるきっかけにしたいです。

(公開授業参観をして) 指導案があり、授業の内容がわかりやすかったです。大まかなもので構わないのでPTAのときにあるといいと思いました。

ICT活用で学習環境が大きく変わりました。ローマ字を学習するタイミングでタイピング練習に取り組んだり、チャット等によるトラブルがないようにしたりしてほしいです。

地域の伝統芸能にふれ合う機会をつくってほしいです。中学校で百姓踊りを体験する前に見学する時間を設けるなど、小学校で地域の伝統にふれる機会があるといいと考えています。



「あいさつ運動」と「ながら見守り」を実施 ～子どもたちのあいさつで村を元気に!～



学校運営協議会では発足年度以来、「あいさつ運動」と「ながら見守り」を実施しています。毎月一回、校園周辺6箇所で行っています。暑さ、寒さに負けず元気に登園・登校する子どもたちの明るいあいさつが飛び交っています。



今年度の各校園の取組について

～学校運営協議会委員からこんな意見がありました～

【学び】について

- ・園の絵本の置き方が工夫されていると思います。コロナが落ち着いたら、以前のように絵本の貸し出しをし、絵本に親しむことをこれからも大切にしてほしいと思います。
- ・ICTを活用することで発言に消極的な子どもも意見を発信できるようになったと感じます。
- ・タブレットを活用した異学年交流など、授業以外でも活用できるのではないのでしょうか。

【育ち】について

- ・園児と保護者が様々な運動に関わる機会や、生態系公園の自然環境に触れる機会をもつのはどうでしょうか。
- ・子どもたちの体力づくりの取組や、あいさつに関する取組は今後も継続してほしいと思います。
- ・学年による特色があるように感じるので、その特色に応じた指導をお願いします。

【心】について

- ・園児と小・中学生が触れ合う機会は互いのよい刺激となっています。ぜひ機会を増やしてほしいと思います。
- ・自己肯定感が低い子どもも多いと思われます。「失敗しても大丈夫」という気持ちを育みながら、子どもたちの「いいところ」をさらに伸ばしていってほしいと思います。
- ・いじめは絶対にいけないという意識を100%にしてほしいと思います。
- ・コロナ禍ではありますが、可能な限りボランティア活動の機会の充実をお願いします。

学校運営協議会の皆様のご意見を参考に、令和4年度は、こんな園・学校を目指します

大湊こども園

【学び】 意欲的に学ぶ環境づくり

- ・言葉や表現力の育成（絵本への親しみ）
- ・発達段階に合わせた絵本コーナーづくり
- ・子どもの育ちを家庭と共有するための伝え合い

【育ち】 健康で柔軟な身体作りとあいさつ運動の継続

- ・柔軟性を高めるための運動遊びの実施
- ・園内での心地よいあいさつ運動の継続
- ・散歩での地域の方とのあいさつや声掛けの継続

【心】 他者との関わりの中で育つ優しい心

- ・地域や園児同士の関わりの中で思いやりを育む
- ・「失敗しても大丈夫」「またやってみよう」という繰り返し体験の中で達成感を味わう

大湊小学校

【学び】 主体的に課題解決に取り組む子どもの育成

- ・三智（学んで得る智、人と交わって得る智、自らの体験によって得る智）による学び
- ・1人1台タブレットの効果的な活用

【育ち】 規範意識の育成とあいさつ運動の推進

- ・学校・家庭・地域が連携して育む規範意識
- ・他者との関わりの中で育む「自尊感情」「自己有用感」「明るいあいさつ」

【心】 思いやりの心を醸成し感動と共生を生む教育活動の充実

- ・異年齢集団活動の意図的・計画的実施
- ・家庭と連携した思いやりの心の醸成

大湊中学校

【学び】 ICTの活用による更なる授業改善

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにICTを有効に活用した研究を進め、学力向上に資するとともに成果を発信する

【育ち】 開かれた学校づくりの実現

- ・学校運営協議会をはじめ、地域の協力を得て、「大中キラキラ塾」「勤労体験学習」等のふるさと学習を充実させ、生徒の資質・能力を育む

【心】 思いやりの心を育む

- ・道徳教育を中心に、諸活動において自己有用感を高めるとともに、規範意識を醸成する